



モミジの林は、頭の上も足下も赤や黄色！！

河辺林通信

建部北町の森から

2014 年 12 月号

No.200

11 月・森の観察会

11 月の観察会は、吐息がうっすら白くなるような朝でした。観察会のテーマは「秋の花」ということで、まずは、秋の花の代表格である「キク」について話を少ししました。

キクの花は、古来中国における「四君子」と呼ばれる 4 つの植物に数えられ、その中で秋の花とされています。日本においても秋には野ギクが風情があって良いと知られています。また、文献以外にも、家紋等で人々に親しまれていたことが見受けられます。菊花紋様は皇室でも現代まで多く使われています。

キクの話を一通りした後に、森にあるキクや他の花を見に行きました。

森にあるキクの仲間では、ノコンギクやシロヨメナ、コゴメギクなどを見た後、同じくキク科のアキノキリンソウという、

セイタカアワダチソウ（土手などに見られる黄色い花で外来種）に良く似た、日本在来の花を見ることができました。

他にも、ヤブコウジの赤い実や、可憐なキチジョウソウの花を見ることができました。



↑アキノキリンソウ



モリイコ！の子どもたち

活動もいよいよ 10 回中、7 回目となりました。

モリイコ！は、前回たき火をしたので、今回はたき火で昼食を作りました。メニューは五平餅と豚汁。五平餅のお餅は、お米をつぶして竹にくっつけました。肝心のたき火は、子どもたちだけでもあっという間に火をつけていてスタッフもビックリしてしまいました。みんなで作った昼食は美味しく、みんなお腹がパンパンになっていました。午後からは、森たんけんに出かけ、実を探したり、ドングリで迷路をしたりと秋の森を満喫しました。



モリイコ！S は、「たき火名人になろう！」

というミッションで、1 人でたき火台に火をつけたり、ヒモぎり式火おこしで、たき火を行うなど、一日中たき火をしました。班のみんなで息を合わせて、ヒモをひっぱったり、木をおさえたり、かけ声をかけて、種火をつくり、すべての班、火おこしを成功しました！

●11月の作業だより

第2土曜日(11月8日) 25人

作業は、4つでした。

- ① 竹の伐採 来年度の工作用の竹を軽トラいっぱい伐採しました。
- ② 野鳥観察壁前のササ刈り 寒くなり、ハチの活動も収まってきたので、低木管理の森に分け入り、カマで丁寧にササだけ刈りました。
- ③ 草庫の屋根に生えている木の伐採 根っこがびっしり生えていて、引っこ抜くのが大変でした。
- ④ 昼食づくり 料理長たちがみんな不在だったため、メインは温かシチューでした。他には、ふるふき大根や白菜の重ね煮、干し柿などどれも美味しくいただきました。

第4水曜日(11月26日) 14人

冷たい雨が降る中、屋根の下でできる作業でした。木ままクラブで伐採したスギの丸太を、チェーンソーとナタを使い薪にしました。その後は、ベンチ作りの続きを行いました。お昼ごはんは、炊き込みご飯に豚汁、白菜やネギの煮物、ハヤトウリの炒め物、ヒラタケとシイタケの酢の物、柿と、今日も美味しいものでんこもりでした！

木ままクラブ(11月13日・20日)

スギの木の伐採と草刈り、ベンチの補修を行いました。スギの木は、カンナで削り、ネイチャーセンター前のベンチを増設しました。

12月の活動日

12/4 (木)	木ままクラブ モミジが見頃かな！
12/13 (土)	午前中作業を行ったあとは、毎年恒例の「餅つき」！ ぜひお越しください
12/17 (水)	今年最後の活動日 いつもより <u>一週間</u> <u>早い17日</u> に行います

朝9:00～(遅刻可)

第2土曜日は、9:00より
1時間ほど観察会を行います

12月のいろいろ

朝晩が寒くなり、森の木々も葉を色づかせ、ヒラヒラとその葉を落とし、冬支度を整えています。この森では、例年モミジの紅葉のピークは11月下旬から12月上旬です。去年から、「モミジの林」の中に入っていくやすいように、歩道を作っています。多くのモミジの木々を下から見上げ、赤や黄色

の中に、包まれる感覚は、他にはあまりありません！（表面の写真）また、ちょうど今この森では「フユイチゴ」が見頃（実ごろ）です。ちょっとすっぱいのや、甘いもの、場所によっていろいろですが、今だけしか味わえない森の恵です！



12月14日 森のコンサート♪

女性5人組「ソアーヴェ」による歌声と楽器のコンサートです♪
ペチカなどの童謡や、アヴェ・マリア、映画音楽などの演奏です！
開催日：12月14日（日）
開 演：17時30分
入場料：1,000円
お申し込みは **0748-20-5211** まで！

通信 200 号を迎えて

1998年6月、遊林会の活動を始めた時にこの通信も始まり、今回で200号を迎えました。遊林会の保全活動は、記録の残っている2001年から数えると、662回を行っています。これらに関わっていただいた人数は、のべ12,541人になります。（2014年11月末現在）
「継続は力なり」「楽しくなければ続かない」という会のモットーのもと、保全活動や、森での環境学習、自然体験を行ってきました。こうやって続けていけるのは、多くの人の支えがあってこそだと、改めて実感しています。この通信も多くの人に「読んでいて楽しい！」と思ってもらえるよう、私たちスタッフもさらに努力し続けていこうと思います。今後も、この通信を郵送・ネットからの閲覧・手渡し、いろいろな形でみなさまの手元にお届けし続けていこうと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

●遊林会の活動の様子は…

遊林会ホームページ

<http://www.yurinkai.org/>

●森の日々の様子は…

かわべえフォトログ

<http://kawabee.cocolog-nifty.com/>

●モリイコ！の子どもたちの様子は…

モリイコ隊活動記

<http://moriiko.cocolog-nifty.com/blog/>

ぜひ、こちらまでご覧になってくださいね♪



【発行者】

特定非営利活動法人

里山保全活動団体 遊林会 代表 井田 三良

〒527-0003

滋賀県東近江市建部北町 531 河辺いきものの森内

電話 0748-20-5211 IP 電話 050-5801-5211

メール ikimono@e-omi.ne.jp